

週休3日制の勤務選択制導入について

～ガソリン業界の常識を変える働き方改革～

「働き方改革」。リモートワークやフレックスタイム、時短勤務などの制度導入が推奨され、ワークライフバランスの実現に努める企業が増加しています。

立石コーポレーション（本社：長野県塩尻市、代表：立石宗一郎）では、今後ますます多様化する働き方に沿った就労体制を整えることで、社員にとって働きがいのある環境を提供し、社員のワークライフバランスの実現やキャリア形成支援を目指します。

その一環として、令和5年3月1日より新たな中途採用枠「週休3日・週4日勤務」の募集を開始いたしました。

「週休3日制」とは文字通り、1週間あたりの労働日数を減らし、休日を3日設ける制度で、従業員側は自分のライフスタイルに合わせた多様な働き方をすることが可能になります。家族との時間を多く確保できるほか、プライベートが充実することで、仕事へのモチベーションが上がり、



会社全体の生産性向上につながると考えます。また、勉強に充てられる時間を多く確保できるため、キャリアアップにも効果的です。副業が許されている弊社では、本業を活かした副業を始めるなど、学びや副業の経験を本業に還元することもできるようになります。企業側としては、多様な働き方ができる職場環境を整えることで、社員それぞれの事情に合わせた雇用が可能になり、今まで育児や介護などの事情でキャリアを諦めざるを得なかったような優秀な社員にも活躍のチャンスが生まれ、人材の流出を防ぐことができます。

また、時代に即した「働き方改革」を推進する企業として認知されることにより、多様な働き方を希望する方などからの人材確保につながります。

今後は既存の社員へも拡充し、自らの働き方、ライフスタイルを考える機会を提供し、全社員の自己実現を図ってまいります。